

令和6年度（2024年度）

1 学年総合的な探究の時間
（地域探究分野・白老駅前プロジェクト）実施の手引

令和6年度 1学年団

（令和6年（2024年）8月）

は じ め に

本校では、平成 30 年より、白老町の要請を受け、「地域学」を学校設定科目として開講し、地域学が学校と地域の架け橋となり、地学協働のコンソーシアムを構築するまでに至った。この地域学が、令和 5 年度をもって幕を閉じ、令和 6 年度より、総合的な探究の時間として発展的解消がめざされることとなった。

本手引きにおいては、1 学年の総合的な探究の時間の地域探究分野（2 単位のうち 1 単位相当、もう 1 単位は前期の陣屋探究）において活用されることが期待される。

そもそも、教育課程とは、その学校において、一定期間、持続可能であることが前提であるが、この地域探究分野においては、大部分を少人数のゼミ形式で実施するため、実に多くの先生方に協力をいただくこととなった。快諾していただいた諸先生方には、この場を借りて御礼申し上げる。

ゼミ形式とした理由としては、多くの教員が生徒と関わり、きめ細かな指導をすることで、地域学の目標を達成し、さらなる発展を目指したいことと、高等学校学習指導要領（平成 30 年告示）解説（総合的な探究の時間編）において、「特定の教師のみが担当するのではなく、全教師が一体となって組織的に指導に当たることが求められる。」との記載があったことである。

「チーム学校（白東）」として、全ての教師が澁刺と、ファシリテーターとして関わることで、本科目が生徒・学校・地域に及ぼす影響力は計り知れないものとなると確信している。

令和 6 年 8 月 1 学年団（大介航太学年）

目 次

1, 別添資料編

別添1	R6後期1学年総合的な探究の時間 日程表	1
別添2	1学年総合的な探究の時間 授業進行について	2
別添3	アウトラインマップ (シラバス 教員用・生徒用)	3～5
別添4	ロードマップ (たたき台)	6

2, 授業編

ゼミ (担当者・生徒) 一覧	7
授業用ワークシート (生徒用)	8～21
授業進行表 (教員用)	22～34

3, 立案資料編

資料1	地学協働コンソーシアム白東会計予算	35
資料2	令和6年6月職員会議資料 (周知・概要)	36
資料3	令和6年6月職員会議資料 (依頼・予算案変更)	37
資料4	出前講義開催要綱	38～41
資料5	出前講義チラシ	42
(資料6	探究発表会要綱) 後日追加	
(資料7	探究発表会チラシ) 後日追加	

目指すレベル

・ 3 年次の総合的な探究の時間や、科目名に「～探究」が付された科目のレベル（例：地理探究、古典探究、理科課題探究等）

・ 1 年終盤（まとめ）～2 年生のレベル

・ 入学時～1 年中盤のレベル

必ずしもレベル A がダメ（低レベル）で、レベル C が良い、と言うわけではない。生徒の実態に応じて、場面・教科で使い分けることが重要。

探究学習は、教師や周りの大人が探究を進める道筋をどれだけ示すかによって、「コントロール探究」「ガイド探究」「フリー探究」の3つのレベルに分けられる。

探究活動のレベル	探究の内容	問いの生成	探究の手法
レベルC フリー探究	問いも手順もすべて生徒自身で準備する、本格的な探究		生徒が考える
レベルB ガイド探究	指導者が問いや手順を生徒が選択できるように用意し、支援する探究		
レベルA コントロール探究	指導者が用意した問いと手順にしたがって学習する、トレーニングのための探究		指導者が考える
レベルA	コントロール探究：探究に必要なスキルなどを習得するための探究		
レベルB	ガイド探究：習得した探究スキルを活用し、支援を受け行う探究		
レベルC	フリー探究：習得し、活用した探究スキルを援用した本格的な探究		

出典：思考を深める探究学習 アクティブ・ラーニングの視点で活用する学校図書館 桑田てるみ 2016

参考資料 2

○ 学習指導要領（平成30年告示）解説 総合的な探究の時間編

第5章
指導計画の
作成と内容
の取扱い

また、この時間は特定の教師のみが担当するのではなく、全教師が一体となって組織的に指導に当たることが求められる。このことは、横断的・総合的な学習を行うなどのこの時間の目標からも明らかである。生徒の学習が一人一人のテーマに応じて多様に展開する場合や、複合的な内容を含む場合などは、教師の専門性を積極的に生かし、それぞれの学習活動の特性に応じた指導体制を工夫することが考えられる。この時間の企画・立案の段階から、全教職員の連携協力体制を整え、一体となって取り組むことがとりわけ重要である。学校がどのような課題を取り上げ、また、生徒がどのような課題に取り組むのかが決まれば、それにふさわしい学習活動は何であり、それにふさわしい指導体制はどうあるべきか、それぞれの教師が自らできることは何かという観点から、おのずと教師それぞれの役割分担が決まり、学校全体としての指導体制が固まっていく。高等学校においては、教科担任制という指導体制にとらわれず柔軟な指導体制を組む必要がある。

すなわち、この時間は特定の教師のみが担当するのではなく、全教師が一体となって指導に当たることが重要である。このことは、横断的・総合的な学習を行うなどのこの時間の目標からも明らかである。そのためには、同学年や異学年の教師が協働で計画や指導に当たることがもちろん、校長、副校長、教頭、養護教諭、司書教諭、学校図書館司書、実習助手、講師などもこの時間の指導に関わる体制を整え、全教職員がこの時間の学習活動の充実に向けて協力するなど、学校全体として取り組むことが不可欠である。

解説58～59頁

「総合的な探究の時間」を
全教師（管理職含む）
で取り組む根拠



・ 校内で統一の認識を図る
職員会議、地学協働推進（探
究）委員会、管理職による校内
研修他
地域の学校理解につなげる

別添 1

R 6 後期 1 学年総合的な探究の時間 日程表

1 年総探担当：柚原航太、地学協働委：石川拓未

	月	日	曜	校	担当	内容	担当教員	教科横断 (理想)	
1	4	26	金	5	学年	集団形成プログラム②町内ゴミ拾い			
2			6						
3		30	火	1		集団形成プログラム③ゴミ拾い振り返り			
4	5	15	月	5・6	学年	地域探究（陣屋探究）事前学習			
5		27	月	5・6	学年	地域探究（陣屋探究）事前学習			
6		11	火	5・6					
7	6			1	学年	地域探究（陣屋探究）見学			
8				2					
9		20	木	3					
10		21	金	4					
11				5					
12				6					
13		24	月	5・6	学年	地域探究（陣屋探究）発表原稿			
14		26	水	6		地域探究（陣屋探究）発表練習 1			
15		28	金	5・6		地域探究（陣屋探究）発表練習 2			
16	7	3	水	5	学年	地域探究（陣屋探究）発表			
17			6						
18	9	10	火	5	学年	課題探究学習 (ヨコスタ海岸ごみ拾い)			
19			6						
18	10	3	木	5	学年	地域探究概要説明（体育館）	担任、副担任	聞く、書く（メモする） 【国語】	
19				6	ゼミ	ゼミ顔合わせ（ゼミ毎）			
20		8	火	5	学年	出前講義、振り返り	担任、副担任、地域C (地協委)		
21				6					
22		9	水	5	ゼミ	訪問先検討	担任		ICT機器活用【情報】
23		11	金	5	ゼミ	訪問先決定、アポ取り、計画立て	担任、副担任、地域C (地協委)		距離、時間計算【数学】 経路（地理の状況）把握 【地歴】
24	6								
25	15	火	6	ゼミ	計画立て	担任			
26	11	1	金	2	学年	学級にて最終確認	担任	支出計算【数学】 聞く、書く（メモする、ま とめる）、話す（敬語） 【国語】 情報整理【情報】	
27				3		フィールドワーク 10:30学校出発 11:15までに訪問先到着、取材等 14:00までに※経済センター集合、本日のま とめ、ふりかえり 15:15現地解散（※白老駅横）	担任、副担任、地域C (地協委)		
28				4					
29				5					
30				6					
31		5	火	6	ゼミ	冊子製作（下書き、グループ検討）	担任、副担任、地域C		
32	11	6	水	5	ゼミ	冊子製作（スライドにて）	担任、副担任、地域C		
33				6					
34		12	火	5	ゼミ	発表準備（スライド資料作成）	担任、副担任、地域C		
35				6					
36		22	金	5	ゼミ	発表準備（スライド資料作成）	担任、副担任、地域C		
37				6					
38	28	木	5	ゼミ	発表準備、リハーサル	担任、副担任、地域C			
39			6						
40	12	3	火	5	学年	地域探究発表会	全教職員（お手すきで あれば）	ICT機器活用【情報】 経済効果の考察【公民】	
41				6					
42	1	24	金	5	学年	冊子を訪問先へ届ける（まとめ） 13:30学校出発、15:15現地解散	担任、副担任、地域C		
43				6					

網掛けまでは、例年通り実施（志田 T）

○ 11 月の中間考査の週あたりで、ひまわり印刷へ入稿したい。

※この表は、純粋な「総探（学年実施）」
分のみの表であって、進路等他分掌管轄実
施分は掲載していません。

1 学年「総合的な探究の時間」（後期 白老駅前プロジェクト）授業進行について

1 学年総探担当

1. 授業の進め方

- ゼミ形式（少人数指導）で行う。
- 教員2人につき2グループ（教員一人当たり担当生徒5人）

2. 役割分担、担当一覧

事務局 (本部)	◎教諭	柚原 航太	(統括、企画、渉外、校内連絡調整)
	○教諭	石川 拓末	(統括補佐)
	教諭	志田 健	(地域Cとの連絡調整)
	地域C	佐藤 雄大	(校外連絡調整、行政機関との対応)
	教頭	塚原 康隆	(校外連絡調整、報道対応)

ゼミ名・担当教員	グループ	場所	アドバイザー
60' sナウいぜ!! 大介しげゼミ (佐々木、宮川)	A組1, 2班	1A	塚原康隆
超★阿部ゼミ (阿部、加藤)	A組3, 4班	多目的	
シダゼミ～伝説の速度戦～ (志田、西村)	A組5班、B組1班	社会科	
Hey!Say!雄大岩瀬ゼミ (佐藤、岩瀬)	B組2, 3班	講義室	大木康弘
90' s 航拓ゼミ～白東が好きだと叫びたい～ (柚原、石川)	B組4, 5班	1B	

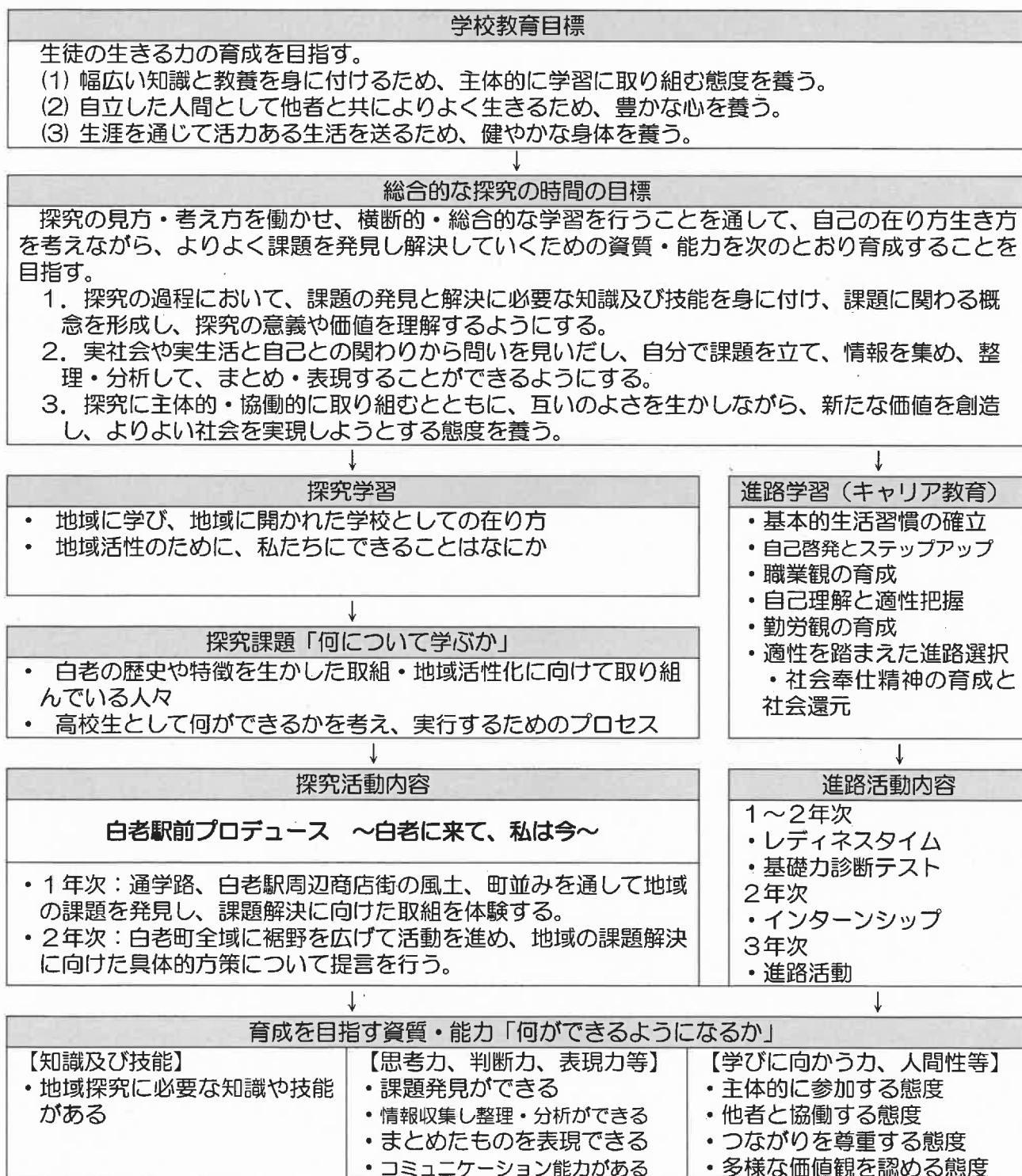
(氏名入り用紙は別途準備)

3. 教員の立ち位置

- 生徒の渉外補助（フィールドワーク訪問先のアポ取りの補助。依頼文書等は全て事務局で作成）。
- 紹介冊子、発表スライドの点検（紹介冊子は1グループ当たりスライド2枚分、発表スライドは10枚程度。一人当たり2スライド程度作成）。
- 基本的に、ゼミ担当教員は、アドバイスのみ。（ファシリテーターに徹する。困っているときや、期日に間に合わなさそうなときにヘルプする。基本は生徒に任せる。初年度なので、若干のクオリティの差異は受容する）。
- 別紙授業進行表に進捗状況を記入し、事務局へ提出願います。
- アドバイザーは、適宜巡回指導や生徒との対話の協力を願う。

別添3 教員用

令和6年度（後期）1学年 総合的な探究の時間 アウトラインマップ



学習の基盤となる資質・能力 / 他教科等で身に付けた資質・能力				
【情報活用】 ・機器の活用（情報） ・分析（数学） ・簿記（商業）	【理数】 ・統計（数学） ・観察（理科） ・実験（理科）	【言語】 ・インタビュー（国語） ・お礼状の書き方（インターシップ） ・見学（地歴公民） ・ビジネスマナー（商業）	【協働】 ・学校祭 ・見学旅行 ・インターシップ ・ボランティア	【考えるための技法】 ・各教科における探究的な学び ・思考ツール

指導方法	指導体制	学習評価
・生徒の課題意識を連続的に発展し、進化させる支援 ・体験活動の重視 ・協働的な活動の充実 ・言語活動による体験の意味の自覚化と化 ・アンケート、インタビュー、フィールドワーク、観察実験等の地域を知る活動の充実	・教科を横断したティーム・ティーチングの強化 ・外部人材・教育力の活用 ・大学の学生（名古屋外国語大学） ・教授との連携	・プレゼンテーションやポスター発表などの表現 ・学習や活動の状況などの観察記録 ・学習記録（ポートフォリオ）による自己評価や相互評価 ・報告会や発表会における外部講師や地域からの評価

1年 総合的な探究の時間 「白老駅前プロデュース」

アウトラインマップ

月 日 () h () 組 () 番 氏名 ()

○ 本校の校訓と「グラデュエーション・ポリシー」

校訓	自強・聡明・礼節	グラデュエーション・ポリシー	自己肯定力、発信力、自己教育力、課題発見力、共生力
----	----------	----------------	---------------------------

1 総合的な探究の時間（後期）の目標

探究の見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、自己の在り方生き方を考えながら、よりよく課題を発見し解決していくための資質・能力を育む。

Keyword

課題の発見 情報の整理・分析 まとめ・表現 主体性・協働性 新たな価値・社会

2 探究課題「何を学ぶか」 POINT

- 白老の歴史や特徴を生かした取組・地域活性化に向けて取り組んでいる人々を知ろう。
- 高校生として何ができるかを考え、実行するためのプロセスを探ろう。

3 授業の流れ

白老駅前プロデュース ～白老に来て、私は今～

通学路、白老駅周辺商店街の風土、町並みを通して地域の課題を発見し、課題解決に向けた取組を体験する。

序章【課題の設定】

- 白老町とはどのような町だろうか？説明を聞き、白老町を知ろう！
- 町役場職員（産業経済課）と地域コーディネーターの方の話を聞こう。

第1章【情報の収集】

- 白老の魅力を探そう！ ～駅前商店街フィールドワーク～

第2章【整理・分析】

- 白老の魅力をグループごとに整理しよう！
- 白老の魅力はどのような点にあるか、グループで協議し、分析しよう！

第3章【まとめ・表現】

- 白老の魅力を紹介冊子にまとめよう！
- 白老の魅力と1年間を振り返り、スライドにまとめよう！

新章 ～そして次年度へ～ 更なる活性化に向けた提言・次年度へつなげよう！

別添 4

R 6 後期 1 学年 総合的な探究の時間 ロードマップ (大介航太学年)

「白老駅前プロデュース ～白老に来て、私は今～」

北海道白老東高等学校学校教育目標 生徒の生きる力の育成を目指す

スクールミッション (白東高ブランド)

- 1 地域における学びを重視する学校
地域課題探究型の学び舎キャリア教育を推進
- 2 多様な学びを重視する学校
校内外の体験活動や地域貢献活動を通して
生きる力の育成

校訓 (白東生プライド)

自彊
聡明
礼節

グラデュエーション・ ポリシー

自己肯定力、発信力、
自己教育力、課題発
見力、共生力

今年度のゴール (目標)

白老東部 (駅周辺) 商店街の良さを
知り、体験した上で、さらなる
活性化に向けた課題を把握する。

1 年次：白老 (駅周辺、東部地区) の魅力を実際に体験し、良さと課題を知る

2 年次：地域を比較し、白老町活性化のための提言 (虎杖浜エリア)

3 年次：3 年間で振り返り、社会・地域を変える提言

各学年の柱

【探究課題～何を学ぶか～】

白老の歴史、風土を活かした取り組み、地域活性に向けて取り組んでいる人々に
焦点を当て、高校生として何ができるかを探究する。

今年度の活動内容

【課題の設定】

- ・ 白老町の概要を知る
- ・ 地域 C、町役場職員による
出前講義、課題の設定

【情報の収集】

- ・ 訪問先の決定
- ・ フィールドワーク、
インタビュー

【整理・分析】

- ・ 個人→グループで集約
- ・ メモ→文章化させる
- ・ プレゼンソフトの使用
- ・ 思考ツールの活用

【まとめ・表現】

- ・ 白老の魅力をまとめる
- ・ 紹介冊子の作成
- ・ 1 年間のまとめの発表会

課題の設定

情報の収集

まとめ・表現

整理・分析

【総合的な探究の時間の目標】

探究の見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、自己の在り方生き方を考えながら、よりよく課題を発見し解決していくための資質・能力の育成することを旨とする。

【キーワード】

- ・ 課題の発見と解決
- ・ 情報の整理・分析
- ・ まとめと表現
- ・ 新たな価値の創造
- ・ より良い社会の実現
- ・ 教科横断、持続可能性
- ・ 地域人材の活用

R 6 後期 1 学年 総合的な探究の時間 ゼミ（担当者・生徒）一覧

※「組」の【A1】 --- A組1班を示す。

ゼミ名	担当者	教室	組	No.	氏名	組	No.	氏名	組	No.	氏名
60's ナウいぜ！！ 大介しげゼミ	佐々木大介 宮川重徳 (塚原康隆)	1 A									
超★阿部ゼミ	阿部佳苗 加藤超 (塚原康隆)	多目的教室									
シダゼミ ～伝説の 速度戦～	志田健 西村真理子 (塚原康隆)	社会科教室									
Hey!Say! 雄大岩瀬ゼミ	佐藤雄大 岩瀬大河 (大木康弘)	講義室									
90's航拓ゼミ ～白東が好きだ と叫びたい～	柚原航太 石川拓未 (大木康弘)	1 B									

【備考・連絡事項】

No. 1

1年 総合的な探究の時間 「白老駅前プロデュース」

10月3日(木)5~6h ()組()番 氏名()

課題

白老のことはどれくらい知っているだろうか？
議会、行政の方の講話から、今後の展望を探ろう！

Think & Try

あなたは、今の白老をどう思いますか？
また、今後（将来的に）、白老にどうなってほしいですか？

こういう白老になってほしい！！

1 白老の概要を調べ、「良さ」と「課題」を書きだそう。

白老の現状		
<基本情報>	<良さ>	<課題>
・人口()人 - 昨年度より(増 ・ 減) ・面積()km² ・気候 平均気温()℃ - 年間降水量()mm ・県庁所在地からの距離()km ・どの交通機関で来るのがよい？ ()		

【グループメンバー】名前と出身地

【グループの意見】

白老の「良さ」	白老の「課題」

2【出前授業】講話の内容をメモしておこう。 10月8日(火)

講話していただいた方の 名前、プロフィール	
講話の内容のメモ	

講話していただいた方の 名前、プロフィール	
講話の内容のメモ	

講話していただいた方の 名前、プロフィール	
講話の内容のメモ	

 まとめよう

ここの記述が後々重要になってきます！！

出前講義を聴いて、 これは課題だな…、 調べてみたい！ と思ったこと。	
--	--

No. 2

1年 総合的な探究の時間 「白老駅前プロデュース」

10月9,11日(水、金) ()組()番 氏名()



課題

白老駅前商店街の魅力を探し、更なる活性化のための方法を考えよう!

Think & Try

白老駅前商店街にはどのような店があるだろうか?
～グループで調べ、実際に行ってみよう!～

グループの柱 (こんなお店、こんなコンセプトの場所を調査・探究したい!)

作業1 候補のお店を、第三候補まで決め、理由を記入しよう。クラスルームに記入すること。
(ほかのグループと重なった場合は、協議の上、移動があり得ます。)

第一候補 (店名)	第二候補 (店名)	第三候補 (店名)
第一候補 選定理由	第二候補 選定理由	第二候補 選定理由

作業2 候補のお店を、地図中に印をつけよう。



No.3

1年 総合的な探究の時間 「白老駅前プロデュース」

10月11日(金) h ()組()番 氏名()



フィールドワークのアポイントメントを取り、
具体的に調査する方法を考えよう!

確認 フィールドワーク当日の動き

10月25日(金) 2～6時間目

2時間目…ゼミ教室で行程の最終確認、インタビューの練習、予算の確認等。

10:30…学校出発

11:15までに、訪問先到着、昼食・取材など

14:00までに、経済センター(白老駅横)集合、本日のまとめ、ふりかえり

15:15 現地解散

※許可を取って、訪問先の写真や食べている所の写真を必ず撮影すること!! (紹介冊子で使います。)

Think & Try

訪問先に、アポイントメントを取り、必要事項をメモしよう

電話にて伝えること	
聞き取ったこと、グループ や先生に共有しておくべき 情報	

作業 当日の計画を立てよう（下書き） 10月15日（火）

時間（○：○）	行程

取材後、時間があれば、公園やポロミンタラなど、公共施設（アポイントメントの必要が無い場所）に立ち寄ることは構いません。

フィールドワーク計画表（提出用） 10月15日（火）

()組 ()班	メ ン バ ー		教 員 点 検	
時間（○：○）	行程			

No. 4

1年 総合的な探究の時間 「白老駅前プロデュース」

11月1日(金) 1~5h ()組()番 氏名()



フィールドワークから地域課題と
地域活性化につながるヒントを探究しよう!

作業 訪問先で調査したことを記録しておこう。(あとでまとめて書くのではなく、その都度、ファイルに挟めながら書いてください。) 清書用紙は、別紙で用意しますので、多少汚く書いても、あとから自分が見れば構いません。

訪問先でのメモ	
従業員の方から聞いたこと	
驚いたことや発見 (予想と違ったこと)	
「いいね!」と思ったこと	
「これは課題かも…」と思ったこと	

No.5

1年 総合的な探究の時間 「白老駅前プロデュース」

11月1日(金) 6h ()組 ()番 氏名 ()



課題

フィールドワークで調査したことをまとめよう



まとめよう

今日の感想と、印象に残ったことを自由に書いてください。



Think & Try

訪問先についてまとめましょう。

訪問先の率直な感想	
訪問先の方から聞いて、印象に残ったこと	
訪問先の「良さ」	
訪問先の「課題」	

グループ協議 訪問先の「良さ」と「課題」の共通項を見出し、グループとして、その訪問先をどのようにPRしたいか、方向性(軸)を決めましょう。

グループで共通した「良さ」	
グループで共通した「課題」	

グループにおける方向性(軸) (こういう方向性でPRしたい! 紹介冊子、発表に向けて)

No.6

1年 総合的な探究の時間 「白老駅前プロデュース」

11月5～6日（火、水） （ ）組（ ）番 氏名（ ）



課題

フィールドワークで調査したことを紹介冊子にしよう!

以下のグループでの「方向性」を中心に、紹介冊子を作ります。

再確認！ グループにおける方向性（軸）

これからの授業の流れ

- ☐ 今日…役割分担、下書きの作成（ワークシート）にて
 - ☐ 次回…Googleスライドを使って、紹介冊子の作成
 - ☐ 提出方法…完成次第、「1年総合的な探究の時間」クラスルームにて提出すること。
 - ☐ 締め切り…**11月11日（月）**、授業時間内に終わらない場合、昼休みや放課後に作業すること。
 - ☐ 完成後（予定）…訪問先へ届けに行く（1月24日（金））
- 【作成要領】
- ☐ スライド2枚にまとめる。**1枚目は写真中心、2枚目は文章中心にする。**
 - ☐ どこでもよいので、訪問先の名前、作成者の名前（グループ全員）を入れること。
- 【アドバイス】
- ☐ 写真を上手に活用しましょう。（写真はどうやって取り込む？）
 - ☐ いろんな地域の紹介冊子を比較してみよう。（理想、最終形態は「じゃらん」や「るるぶ」）
 - ☐ 必ず、お店の人の「インタビュー」を掲載しましょう。

名前	役割	名前	役割
紹介冊子に必ず盛り込むべきこと！（グループで協議）			

下書き（1 枚目と 2 枚目で、どちらを写真中心にするか、文字中心にするかは、グループに任せます。）

No. 7

1年 総合的な探究の時間 「白老駅前プロデュース」

11月12日(火) 5~6h ()組()番 氏名()

課題

「白老駅前プロデュース」の成果を、地域の方に発表しよう!

今後の授業の流れ

11	1	金	2	学年	学級にて最終確認	担任
			3		フィールドワーク	
			4		10:30学校出発	
			5		11:15までに訪問先到着、取材等	担任、副担任、地域C (地協委)
			6		14:00までに※経済センター集合、本日のまとめ、ふりかえり	
	5	火	6	学年	15:15現地解散(※白老駅構)	
	6	水	5	学年	冊子製作(下書き、グループ検討)	担任、副担任、地域C
			6		冊子製作(スライドにて)	担任、副担任、地域C
	12	火	5	学年	発表準備(スライド資料作成)	担任、副担任、地域C
	22	金	5	学年	発表準備(スライド資料作成)	担任、副担任、地域C
	28	木	5	学年	発表準備、リハーサル	担任、副担任、地域C
12	3	火	5	学年	地域探究発表会	は)
1	24	金	5	学年	冊子を訪問先へ届ける(まとめ)	
			6		13:30学校出発、15:15現地解散	担任、副担任、地域C

終了

1グループにつき
5~7分程度

★個人 発表でこれだけは伝えたいこと(紹介冊子と重なっても構いません)

★グループ 発表(スライド)におけるグループの軸(他のグループにはない自慢ポイント)

★スライドの構成(推奨) 条件: 最低でも11枚は作成する。増える分には構わない。

章	内容 ○…スライドのページ	担当者
1	①表紙 ②そもそも白老とはどういう町?どんな課題がある? →出前講義を聴いて、課題だな、とか、調べたいと思ったこと	
2	③探究の方法(how どうやって?) ④グループの方向性(軸・テーマ)	
3	⑤どこに行った?(where 主に写真) ⑥探究の目的(why なぜその場所?)	
4	⑦どのようなところだった?(結果) ⑧訪問先の人のインタビュー	
5	⑨自分たちの率直な感想 ⑩良さと課題	
6	⑪まとめ・提言(テーマに対する答え) (⑫写真やメイキング映像など) 「こんな良さがあるから、もっとこうしたら〇〇だと思う!なぜなら…」	

ポイント 公共の授業みたいに、「今日(グループ)のテーマ」と「テーマの答え(解)」を必ず入れる!!

注意!! → テーマと答えがないと、「結局このグループは何が言いたかったの?」となります。

自分の担当箇所の下書きと台本

スライドの下書き	このスライドで伝えたいポイント (4つすべて埋めなくても構いません)
	① ② ③ ④
	① ② ③ ④

台本

(時間内であれば、もう少し長くなっても構いません)

No.8

1年 総合的な探究の時間 「白老駅前プロデュース」

11月22日(金) 5h ()組()番 氏名()



ゼミごとに中間発表会をして、完成度を高めよう!

①中間発表

【意見交換】他グループからの「いいね!」

【意見交換】他グループからの助言

もう少し調べる必要があること

②発表当日までの課題

No.9

1年 総合的な探究の時間 「白老駅前プロデュース」

12月3日(火) 5~6h ()組()番 氏名()



白老駅前プロデュースの成果発表をしよう!

(伝え方、表現方法、他グループの発表から学ぼう)

(1) 他の9グループで1番良いな、と感じたグループ

()組()班

【理由】

(2) 10月から今日までの探究の感想を聞かせてください。

(3) ゼミ形式(少人数)と一斉授業(クラス全員)では、どちらが良いと思いますか。理由も教えてください。

(4) 来年度に向けて、この授業で改善した方が良いな、と思ったこと。

(例: もう少し調べる時間を長くしてほしい、など)

(5) 来年度に向けて、この授業で是非続けてほしいこと(良かったところ)

(6) 自分たちのグループの来年度に向けた課題

令和6年度 第1学年 総合的な探究の時間 授業案 第1回

「白老駅前プロデュース ～白老に来て、私は今～」

日	令和6年10月3日(木)	時	5～6校時	場所	体育館、各ゼミ教室
本時の活動	5h 体育館にて概要説明(担任のみ) 6h ゼミ教室にて顔合わせ、自己紹介、No.1表面(できるところまで)				
次時の活動	10月8日(火) 5～6h、出前講義				
生徒への 連絡・提出物	☐ No.1表面を記入しておくこと。 ☐ No.1次回も使用するの持ってくる。				
担当者向け 連絡					

【指導体制】

※下段に役割がある場合はご協力願います。空欄の場合又は裏で授業の場合は待機で構いません。

学年団	1A担任 佐々木大介	1A副担任 宮川重徳	1B担任 ◎袖原航太	1B副担任 ○石川拓未	学年付き 志田健	学年付き 阿部佳苗
	5, 6h	6h	5, 6h	6h	6h	6h
地学協働 推進委員会	校長 大木康弘	教頭 塚原康隆	3B担任 加藤超	2B担任 小林剛太	3B副担任 岩瀬大河	2A副担任 道下貴弥
			6h		6h	
	事務長 矢田博之	地域C 佐藤雄大	ゼミ補助 西村真理子			
		5, 6h	6h			

【授業案】

時間	内容
13:20	廊下整列、体育館へ移動
13:25	説明開始
13:45	校長講話
14:10	まとめ、HR教室へ移動
14:25	(本鈴までに)ゼミ教室へ移動、ゼミ開始 No.1表面の記入、 どんなお店に行きたいか、大体的見当をつけておく。
15:15	HR教室へ移動、帰SHR

令和6年度 第1学年 総合的な探究の時間 授業案 第2回

「白老駅前プロデュース ～白老に来て、私は今～」

日	令和6年10月8（火）	時	5～6校時	場所	体育館
本時の活動	5～6h 出前講義				
次時の活動	10月9日（水）5h 訪問検討				
生徒への 連絡・提出物	☐ No.1 裏面を記入すること。				
担当者向け 連絡					

【指導体制】

※下段に役割がある場合はご協力願います。空欄の場合又は裏で授業の場合は待機で構いません。

学年団	1A担任 佐々木大介 5, 6h	1A副担任 宮川重徳 5, 6h	1B担任 ◎柚原航太 5, 6h	1B副担任 ○石川拓未 5, 6h	学年付き 志田健	学年付き 阿部佳苗
地学協働 推進委員会	校長 大木康弘 5, 6h	教頭 塚原康隆 5, 6h	3B担任 加藤超	2B担任 小林剛太	3B副担任 岩瀬大河	2A副担任 道下貴弥
	事務長 矢田博之	地域C 佐藤雄大 5, 6h	ゼミ補助 西村真理子 5, 6h			

【授業案】 5, 6hチャイム切る！！

時間	内容
4校時	準備
13:00	講師到着（校長室、講師対応・案内：塚原教頭）
13:20	廊下整列、体育館へ移動
13:25	説明、講師照紹介
13:35	町長講話
14:10	産業経済課講話
14:30	地域コーディネーター講話
14:55	質疑・応答
15:15	HR教室へ移動、帰SHR

令和6年度 第1学年 総合的な探究の時間 授業案 第3回

「白老駅前プロデュース ～白老に来て、私は今～」

日	令和6年10月9日（水）	時	5校時	場所	ゼミ教室
本時の活動	リストの中から、訪問先を検討し、アポ取りの準備をする。				
次時の活動	10月11日（金）5, 6h 訪問先へのアポ取り				
生徒への 連絡・提出物	☐ No.2の記入 Classroomのドキュメントを活用し、第一候補から第三候補まで入力する。即時可視化できるので、被った所は、ジャンケンなどでこの時間内に決める。				
担当者向け 連絡	☐ classroomに、訪問先希望リストを載せますので、そちらに入力してください。 ☐ No.2の配布 タブレットの準備をお願い致します。				

【指導体制】

※下段に役割がある場合はご協力願います。空欄の場合又は裏で授業の場合は待機で構いません。

学年団	1A担任 佐々木大介 5h	1A副担任 宮川重徳 5h	1B担任 ◎柚原航太 5h	1B副担任 ○石川拓未 5h	学年付き 志田健 5h	学年付き 阿部佳苗 5h
地学協働 推進委員会	校長 大木康弘	教頭 塚原康隆	3B担任 加藤超 5h	2B担任 小林剛太	3B副担任 岩瀬大河 5h	2A副担任 道下貴弥
	事務長 矢田博之	地域C 佐藤雄大 5h	ゼミ補助 西村真理子 5h			

【授業案】

時間	内容
13:20	本鈴前にゼミ教室へ移動 No.2の配布、ゼミ教員より方訪問先リストの説明
13:50 14:00	13:50までに訪問先入力 被ったグループの代表者が集まりジャンケン 被らなかったグループは決定 、電話（アポ）の準備。 →ジャンケンで負けたグループは、第2, 3候補の中から決める。 ただし、すでに他グループで決定している場合は更に候補を考える。
14:15	（可能であれば、電話（アポ）で伝えることを助言する） 早く終わったグループは電話（アポ）の準備。何を聞くか、何を伝えるか。 解散

柚原が巡回し、被ったグループの代表者を呼び、ジャンケンさせる。

訪問先確定次第、地域Cより事前の連絡（根回し）をお願いする。

令和6年度 第1学年 総合的な探究の時間 授業案 第4回

「白老駅前プロデュース ～白老に来て、私は今～」

日	令和6年10月11日（金）	時	5～6校時	場所	ゼミ教室
本時の活動	訪問先へアポ取りを行う				
次時の活動	10月15日（火）6h 計画立て				
生徒への 連絡・提出物	☐ No.3裏面と計画表記入 ※計画表はゼミ担当教員へ提出				
担当者向け 連絡	☐ No.3と計画表の配布 ☐ 生徒が提出した計画表の点検 タブレットの準備をお願い致します。				

【指導体制】

※下段に役割がある場合はご協力願います。空欄の場合又は裏で授業の場合は待機で構いません。

学年団	1 A担任 佐々木大介 5, 6h	1 A副担任 宮川重徳 5, 6h	1 B担任 ◎柚原航太 5, 6h	1 B副担任 ○石川拓未 5, 6h	学年付き 志田健 5, 6h	学年付き 阿部佳苗 5, 6h
地学協働 推進委員会	校長 大木康弘	教頭 塚原康隆	3 B担任 加藤超 5, 6h	2 B担任 小林剛太	3 B副担任 岩瀬大河 5, 6h	2 A副担任 道下貴弥
	事務長 矢田博之	地域C 佐藤雄大 5, 6h	ゼミ補助 西村真理子 5, 6h			

【授業案】

時間	内容
13:20	本鈴前にゼミ教室へ移動
13:25	アポ取りで伝えることの確認（日時、何をしたいのか、何を聞きたいのか、目的等）
13:50	訪問先へアポ取りの電話（13:30～13:50）
14:15	休憩
14:25	No.3と計画表の記入 ※訪問先での活動後、もし時間が余れば（経済センター到着まで時間があれば）、公園やポロトミンタラ等公共施設の立ち寄りとは可能とする。ただし、その旨計画表に記載すること。
15:15	解散

令和 6 年度 第 1 学年 総合的な探究の時間 授業案 第 5 回

「白老駅前プロデュース ～白老に来て、私は今～」

日	令和 6 年 10 月 15 日 (火)	時	6 校時	場所	ゼミ教室
本時の活動	計画表の最終調整				
次時の活動	11 月 1 日 (金) 2 ～ 6 h フィールドワーク				
生徒への 連絡・提出物	☐ 計画表完成				
担当者向け 連絡	☐ 添削した計画表返却 ☐ No. 4 配布				

【指導体制】

※下段に役割がある場合はご協力願います。空欄の場合又は裏で授業の場合は待機で構いません。

学年団	1 A 担任 佐々木大介 5, 6 h	1 A 副担任 宮川重徳 5, 6 h	1 B 担任 ◎柚原航太 5, 6 h	1 B 副担任 ○石川拓未 5, 6 h	学年付き 志田健 5, 6 h	学年付き 阿部佳苗 5, 6 h
地学協働 推進委員会	校長 大木康弘	教頭 塚原康隆	3 B 担任 加藤超 5, 6 h	2 B 担任 小林剛太	3 B 副担任 岩瀬大河 5, 6 h	2 A 副担任 道下貴弥
	事務長 矢田博之	地域 C 佐藤雄大 5, 6 h	ゼミ補助 西村真理子 5, 6 h			

【授業案】

時間	内容
14 : 25	本鈴前にゼミ教室へ移動
15 : 00	添削された計画表を返却し、最終調整、行程の確認 インタビュー内容の確認 大まかな行程（全体）をゼミ担当より伝達する。 ※フィールドワークの集合場所は 14 : 00 経済センター ※フィールドワークの後は冊子製作であることを伝える。
15 : 15	解散

令和6年度 第1学年 総合的な探究の時間 授業案 第6回

「白老駅前プロデュース ～白老に来て、私は今～」

日	令和6年11月1日（金）	時	1～6校時	場所	ゼミ教室・現地
本時の活動	フィールドワーク				
次時の活動	11月5日（火）6h 紹介冊子作成				
生徒への 連絡・提出物	☐ ファイル、計画表を忘れない ☐ 許可を取り、写真を撮っておくこと！！ ☐ フィールドワーク代の残額は経済センターで担任に渡すこと。				
担当者向け 連絡	☐ フィールドワーク代の配布（残額は経済センターにて担任に渡すこと） ☐ 行程・インタビュー内容、経済センター集合時間の確認 ☐ 経済センターでNo.5 配布				

【指導体制】

学年団	1 A 担任 佐々木大介 終日	1 A 副担任 宮川重徳 終日	1 B 担任 ◎柚原航太 終日	1 B 副担任 ○石川拓未 終日	学年付き 志田健 2 h	学年付き 阿部佳苗 終日
地学協働 推進委員会	校長 大木康弘 終日	教頭 塚原康隆 終日	3 B 担任 加藤超 2 h	2 B 担任 小林剛太	3 B 副担任 岩瀬大河 2 h	2 A 副担任 道下貴弥
	事務長 矢田博之 代金準備	地域 C 佐藤雄大 終日	ゼミ補助 西村真理子 2 h			

【授業案】

時間	内容
9:50	本鈴前にゼミ教室へ移動
10:25	行程・インタビュー内容、経済センター集合時間の確認、代金配布
10:30	学校出発
11:15	この時間までに訪問先到着、昼食・取材等 巡回 13:30 担任・副担任、養護教諭、地域 C は経済センターへ 生徒はこの時間まで（13:30～14:00）に経済センターに来ること（時間厳守）
14:00	※残額回収（残額とレシート金額が合うか確認） No.5 配布
14:00	本日のまとめ、振り返り（No.4 と 5 を記入する） （早く終わったグループは、冊子の構成について話し合う）
15:00	現地解散

令和6年度 第1学年 総合的な探究の時間 授業案 第7回

「白老駅前プロデュース ～白老に来て、私は今～」

日	令和6年11月5日（火）	時	6校時	場所	ゼミ教室
本時の活動	紹介冊子の作成（役割分担、撮影した写真のインポート）				
次時の活動	11月6日（水）5～6h、紹介冊子の作成（提出）				
生徒への 連絡・提出物	☐ Googleスライドを使用して、紹介冊子を作成する。 ☐ フィールドワークで撮影した写真をGoogleドライブへインポートする。				
担当者向け 連絡	☐ 下書きの点検をお願いします。				

【指導体制】

※下段に役割がある場合はご協力願います。空欄の場合又は裏で授業の場合は待機で構いません。

学年団	1 A 担任 佐々木大介 6 h	1 A 副担任 宮川重徳 6 h	1 B 担任 ◎柚原航太 6 h	1 B 副担任 ○石川拓未 6 h	学年付き 志田健 6 h	学年付き 阿部佳苗 6 h
地学協働 推進委員会	校長 大木康弘	教頭 塚原康隆	3 B 担任 加藤超 6 h	2 B 担任 小林剛太	3 B 副担任 岩瀬大河 6 h	2 A 副担任 道下貴弥
	事務長 矢田博之	地域C 佐藤雄大 6 h	ゼミ補助 西村真理子 6 h			

【授業案】

時間	内容
14:25	本鈴前にゼミ教室へ移動
	No.6を使って、役割分担を記入し、下書きを書く。 下書きをゼミ担当へ見せ、助言をもらう
15:00	早く終われば、スライド作成に入って構わない。
15:15	HR 教室へ戻る

令和6年度 第1学年 総合的な探究の時間 授業案 第8回

「白老駅前プロデュース ～白老に来て、私は今～」

日	令和6年11月6日(水)	時	5～6校時	場所	ゼミ教室
本時の活動	紹介冊子の作成(提出)				
次時の活動	11月12日(火) 5～6h 発表会に向けた準備(スライド作成)				
生徒への 連絡・提出物	☐ Google スライドを使用して、紹介冊子を作成する。 ☐ classroom 上で提出する。(万一終わらなければ、昼休み等を使って作成する)				
担当者向け 連絡	☐ 提出を促してください。適宜助言をお願いします。				

【指導体制】

※下段に役割がある場合はご協力願います。空欄の場合又は裏で授業の場合は待機で構いません。

学年団	1 A 担任 佐々木大介 5, 6 h	1 A 副担任 宮川重徳 5, 6 h	1 B 担任 ◎柚原航太 5, 6 h	1 B 副担任 ○石川拓未 5, 6 h	学年付き 志田健 5, 6 h	学年付き 阿部佳苗 5, 6 h
地学協働 推進委員会	校長 大木康弘	教頭 塚原康隆	3 B 担任 加藤超 5, 6 h	2 B 担任 小林剛太	3 B 副担任 岩瀬大河 5, 6 h	2 A 副担任 道下貴弥
	事務長 矢田博之	地域C 佐藤雄大 5, 6 h	ゼミ補助 西村真理子 5, 6 h			

【授業案】

時間	内容
13:25	本鈴前にゼミ教室へ移動
14:15	紹介冊子制作 下書きをゼミ担当へ見せ、助言をもらう 休憩
15:00	ゼミ教員による点検
15:10	この時間までに classroom 上で提出
15:15	HR 教室へ戻る

令和6年度 第1学年 総合的な探究の時間 授業案 第9回

「白老駅前プロデュース ～白老に来て、私は今～」

日	令和6年11月12日(火)	時	5～6校時	場所	ゼミ教室
本時の活動	発表会に向けた準備(スライド作成)				
次時の活動	11月22日(金) 発表会に向けた準備(スライド作成、中間発表)				
生徒への 連絡・提出物	☐ Googleスライドを使用して、発表スライドを作成する。 ☐ No.7の通りに取り組む				
担当者向け 連絡	☐ No.7の配布 ☐ スライドの役割分担				

【指導体制】

※下段に役割がある場合はご協力願います。空欄の場合又は裏で授業の場合は待機で構いません。

学年団	1A担任 佐々木大介 5, 6h	1A副担任 宮川重徳 5, 6h	1B担任 ◎柚原航太 5, 6h	1B副担任 ○石川拓未 5, 6h	学年付き 志田健 5, 6h	学年付き 阿部佳苗 5, 6h
地学協働 推進委員会	校長 大木康弘	教頭 塚原康隆	3B担任 加藤超 5, 6h	2B担任 小林剛太	3B副担任 岩瀬大河 5, 6h	2A副担任 道下貴弥
	事務長 矢田博之	地域C 佐藤雄大 5, 6h	ゼミ補助 西村真理子 5, 6h			

【授業案】

時間	内容
13:25	本鈴前にゼミ教室へ移動
	昨年度1年生のスライドや地域学スライドを見て、作成の参考にする。
	No.7配布 役割分担決定
	下書き作成(No.7) 下書きの途中で、適宜ゼミ教員が助言
	できれば、5hで下書きは記入終了したい。
14:15	休憩
14:25	スライド作成
15:10	ゼミ教員による助言
15:15	HR教室へ戻る

令和6年度 第1学年 総合的な探究の時間 授業案 第10回

「白老駅前プロデュース ～白老に来て、私は今～」

日	令和6年11月22日（金）	時	5～6校時	場所	ゼミ教室
本時の活動	発表会に向けた準備（スライド作成、中間発表）				
次時の活動	11月28日（木） 発表会に向けた準備（リハーサル、読み合わせ、時間計測）				
生徒への 連絡・提出物	☐ Googleスライドを使用して、発表スライドを作成する。 ☐ No.8 記入				
担当者向け 連絡	☐ No.8 の配布				

【指導体制】

※下段に役割がある場合はご協力願います。空欄の場合又は裏で授業の場合は待機で構いません。

学年団	1 A担任 佐々木大介	1 A副担任 宮川重徳	1 B担任 ◎柚原航太	1 B副担任 ○石川拓未	学年付き 志田健	学年付き 阿部佳苗
	5, 6 h	5, 6 h	5, 6 h	5, 6 h	5, 6 h	5, 6 h
地学協働 推進委員会	校長 大木康弘	教頭 塚原康隆	3 B担任 加藤超	2 B担任 小林剛太	3 B副担任 岩瀬大河	2 A副担任 道下貴弥
			5, 6 h		5, 6 h	
	事務長 矢田博之	地域C 佐藤雄大	ゼミ補助 西村真理子			
		5, 6 h	5, 6 h			

【授業案】

時間	内容
13:25	本鈴前にゼミ教室へ移動
	スライド作成
14:15	休憩
14:25	中間発表（ゼミ内でできたところまでよいので中間発表を行い、お互いに助言し合う）
15:40	No.8 記入
15:50	中間発表の助言をもとに微調整、手直し
15:15	HR 教室へ戻る

令和6年度 第1学年 総合的な探究の時間 授業案 第11回

「白老駅前プロデュース ～白老に来て、私は今～」

日	令和6年11月28日（火）	時	5～6校時	場所	ゼミ教室
本時の活動	発表会に向けた準備（スライド作成、中間発表）				
次時の活動	12月3日（木） 地域探究発表会				
生徒への 連絡・提出物	☐ Googleスライドを使用して、発表スライドを作成する。 ☐ No.8 記入				
担当者向け 連絡	☐ No.8 の配布 ☐ 次回は体育館にて発表会				

【指導体制】

※下段に役割がある場合はご協力願います。空欄の場合又は裏で授業の場合は待機で構いません。

学年団	1 A 担任 佐々木大介	1 A 副担任 宮川重徳	1 B 担任 ◎柚原航太	1 B 副担任 ○石川拓未	学年付き 志田健	学年付き 阿部佳苗
	5, 6 h	5, 6 h	5, 6 h	5, 6 h	5, 6 h	5, 6 h
地学協働 推進委員会	校長 大木康弘	教頭 塚原康隆	3 B 担任 加藤超	2 B 担任 小林剛太	3 B 副担任 岩瀬大河	2 A 副担任 道下貴弥
			5, 6 h		5, 6 h	
	事務長 矢田博之	地域 C 佐藤雄大	ゼミ補助 西村真理子			
		5, 6 h	5, 6 h			

【授業案】

時間	内容
13:25	本鈴前にゼミ教室へ移動
14:15	スライド作成 中間発表での助言をもとに手直し 休憩
14:25	ゼミ内でリハーサル（ゼミ教室にて） 時間を計測する5～7分程度 ゼミ教員から助言
15:10	この時間までに発表スライドを classroom 上にて提出
15:15	HR 教室へ戻る

令和6年度 第1学年 総合的な探究の時間 授業案 第12回

「白老駅前プロデュース ～白老に来て、私は今～」

日	令和6年12月3日（火）	時	5～6校時	場所	体育館
本時の活動	発表会に向けた準備（スライド作成、中間発表）				
次時の活動	1月24日（木） 冊子を訪問先へ届ける				
生徒への 連絡・提出物	☐ 集会体系で本鈴までに体育館集合 ☐ No.9 記入				
担当者向け 連絡	☐ No.9 の配布				

【指導体制】

※下段に役割がある場合はご協力願います。空欄の場合又は裏で授業の場合は待機で構いません。

学年団	1 A 担任 佐々木大介	1 A 副担任 宮川重徳	1 B 担任 ◎柚原航太	1 B 副担任 ○石川拓未	学年付き 志田健	学年付き 阿部佳苗
	5, 6 h	5, 6 h	5, 6 h	5, 6 h	5, 6 h	5, 6 h
地学協働 推進委員会	校長 大木康弘	教頭 塚原康隆	3 B 担任 加藤超	2 B 担任 小林剛太	3 B 副担任 岩瀬大河	2 A 副担任 道下貴弥
			5, 6 h		5, 6 h	
	事務長 矢田博之	地域 C 佐藤雄大	ゼミ補助 西村真理子			
		5, 6 h	5, 6 h			

【授業案】

時間	内容
4 校時	準備
13:20	廊下整列
13:25	体育館整列完了
13:30	発表開始 5～6 h チャイムを切ってもらう
14:40	およそ 6 分×10 グループ＝約 60 分
14:45	講評をいただく（ ）
15:10	HR 教室へ戻る
15:15	体育館復元（地学協働委員）

令和6年度 第1学年 総合的な探究の時間 授業案 第13回

「白老駅前プロデュース ～白老に来て、私は今～」

日	令和6年1月24日（木）	時	5～6校時	場所	ゼミ教室集合・訪問先
本時の活動	訪問先へ冊子を届ける				
次時の活動					
生徒への 連絡・提出物	☐ 冊子を必ず持つこと				
担当者向け 連絡	☐ ゼミ教室にて冊子を渡し、御礼の言葉を確認する。				

【指導体制】

※下段に役割がある場合はご協力願います。空欄の場合又は裏で授業の場合は待機で構いません。

学年団	1 A 担任 佐々木大介 5, 6 h	1 A 副担任 宮川重徳 5 h	1 B 担任 ◎柚原航太 5, 6 h	1 B 副担任 ○石川拓未 5, 6 h	学年付き 志田健	学年付き 阿部佳苗 5, 6 h
地学協働 推進委員会	校長 大木康弘	教頭 塚原康隆	3 B 担任 加藤超 5 h	2 B 担任 小林剛太	3 B 副担任 岩瀬大河 5 h	2 A 副担任 道下貴弥
	事務長 矢田博之	地域 C 佐藤雄大 5 h	ゼミ補助 西村真理子 5 h			

【授業案】

時間	内容
13:20	本鈴までにゼミ教室集合
13:25	御礼と冊子の確認
13:45	学校出発（グループごと） （時間があれば訪問先で軽食を食べても構わない。ただし自費）
14:45	担任、副担任、白老駅へ （14:45～15:15で白老駅で点呼）
15:00	生徒が教員へ人員報告し、グループごとに解散
15:15	全員の点呼を確認し、学校へ戻る

令和6年度(2024年度) 地学協働コンソーシアム白東会計予算

(予算額:100万円)

1 収入

科目	令和6年度(A)	前年度(B)	増減額(A)-(B)	備考
白老町負担金	1,000,000	-	1,000,000	白老東高校魅力化推進事業費

2 支出

科目	令和6年度(A)	前年度(B)	増減額(A)-(B)	備考
人件費				
地域コーディネーター謝礼	360,000	-	360,000	月額30,000円×12月
講師謝礼・交通費				1時間5,000円×2時間×2回 東京～白老40,000円×2回 元陣屋資料館ガイド料
	104,000	-	104,000	2,000円×2回
物件費				
バス代				陣屋資料館探求学習バス代 31,000円/台×2回=62,000円 竹浦・虎杖浜地区校外学習バス代 66,000円/台×2台=132,000円 環境学習(ゴミ処理場)バス代 46,000円/台×2台=92,000円
体験料	286,000	-	286,000	ウポポイ入場料
	25,920			480円×54名=25,920円
予備費	224,080	-	224,080	
合計	1,000,000	-	1,000,000	

教 職 員 各 位

(6月職員会議資料)

令和6年6月25日

1 学 年 団

1 学年「総合的な探究の時間」の計画変更について(周知)

このことについて、次の通り計画変更を予定していますので、周知致します。尚、本計画は、学年団と地学協働委員会にて審議済みであることを申し添えます。

1, 授業日程

別添1 日程表 別添2 授業進行について 参照

2, 計画変更の理由

- (1) 白老町白老東高等学校魅力化プロジェクト予算(以下補助金という)を有効活用するため。
- (2) 白老町の活性化のため、行政(町役場)、町民、本校が三位一体となって探究することが喫緊の課題であるため。

3, 概要 「白老駅前プロデュース ～白老に来て、私は今～」

陣屋探究、ヨコスト海岸清掃までは昨年同様実施するが、このあとに続くゴミ処理場見学を廃止し、以下、「地域探究」を軸に中身を大幅に変更する。

(1) 出前講義

地域コーディネーター(佐藤雄大氏、以下地域Cという)、白老町役場職員(産業経済課観光振興グループ、以下白老町職員という)による出前講義を実施する。(町の概要、観光、今後の展望)

(2) フィールドワーク

グループ分けをし、白老駅前商店街と、駅裏の本校からの徒歩圏内(3,5キロ圏内)で魅力あるお店を探し実際に現地へ行き、物品を購入、または昼食を摂る。その際、店員にインタビューをする。

(3) 紹介冊子作成

ひまわり印刷へ見積依頼する。白老町白老東高等学校魅力化プロジェクト予算(以下補助金という)のうち、陣屋探究バス代と予備費を充てる。完成後、フィールドワーク訪問先へ届ける。また、役場、商工会議所へ配布する。

(4) 探究発表会

グループごとに、白老駅前プロデュースの成果と課題をスライドまたは動画の形式でまとめ、発表会を行う。この際、コンソーシアム会議構成員へ案内状を送付、報道機関へプレスリリースを送信、胆振教育局(教育支援課高校班、以下胆振局という)と教育庁高校教育課(高校教育指導係とキャリア教育指導係、以下本庁という)へ情報提供する。

4, 補助金の使途について

補助金の予算案からの変更となるため、別途審議願う(別紙参照)。

5, 本授業の見取り図

別添4(ロードマップ) 参照

尚、別添4の通り、単年度計画ではなく、3カ年を見通した計画であることを申し添える。

6, 本授業のクラスルームについて

- (1) クラスルーム名 総合的な探究の時間(R06大介航太学年)
- (2) クラスコード gvlogqg

問い合わせ先

1 学年総合探究担当 柚原航太
1 学年地学協働委員 石川拓未

教 職 員 各 位
(6月職員会議資料)

令和6年6月25日
1 学 年 団

白老町白老東高等学校魅力化プロジェクト予算案の変更について(依頼)

このことについて、1学年「総合的な探究の時間」の計画変更に際し、白老町白老東高等学校魅力化プロジェクト予算案(以下補助金という)の変更を予定していますので、審議願います。

【変更案】

現行		変更案		変更後の合計
用途	小計	用途	小計	
環境学習(ゴミ処理場)バス代 (¥46,000×2台)	¥92,000	フィールドワーク代 (¥1,500×60人)	¥90,000	¥90,000
陣屋資料館探究学習バス代 (¥31,00×2台)	¥62,000	冊子製作代 予備費 (冊子製作代)	¥62,000 不足分	¥62,000+不足分

※1 冊子製作代は、ひまわり印刷へ見積もり依頼をする。基本的には陣屋バス代を充てるが、不足分においては、予備費(¥224,080)より一部支出する。

※2 フィールドワーク代は封筒に入れて生徒へ配布する。また、残金は戻入する。生徒は、必ず領収書等を持参し、残額と共に封筒へ入れて担任へ当日中に提出する。

問い合わせ先
1学年総合探究担当 柚原航太
1学年地学協働委員 石川拓未

北海道白老東高等学校
令和6年度(2024年度) 1学年「総合的な探究の時間」出前講義 開催要項

1 目 的

探究の過程において、行政機関に外部講師を依頼することで、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解する一助とする。

2 主 催

北海道白老東高等学校（1学年団、地学協働推進委員会）

3 期 日

令和6年（2024年）10月8日（火）5，6校時

4 会 場

北海道白老東高等学校 体育館（白老町日の出町5丁目17番地3 TEL0144-82-4280）

5 参加対象

1学年生徒、参加希望の保護者

6 日程等

13:00	13:20	13:25	13:30	14:40	14:50	15:00
受 付	開 会	[説明] 5分 ・出前講義の趣旨 について ・講師紹介	[出前講義] 70分 (講師並びに講演題は7講師を参照)	[質疑・応答] 10分 ・本校生徒、保護 者より質問を受 け付け	閉 会	

7 講師

【講演】「私の人生観と白老の今後の将来像について、高校生に期待すること」（仮）

白老町長 大 塩 英 男 氏

【講演】「白老町の観光と地域資源」（仮）

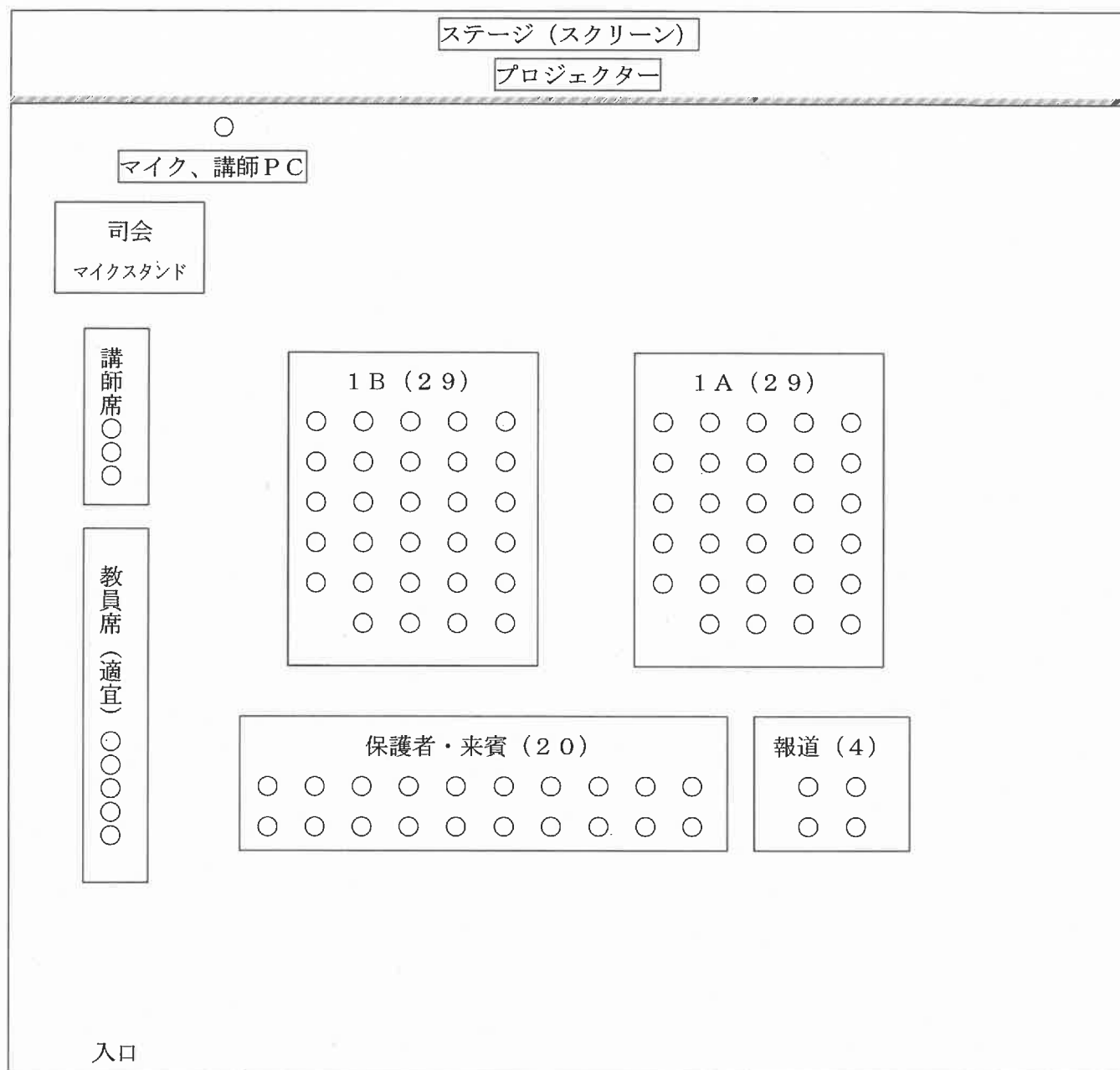
白老町経済振興課観光振興グループ 主事 荒 大 輝 氏

【講演】「地域探究の進め方と白老の魅力～白老町出身者として～」（仮）

北海道白老東高等学校地域コーディネーター（白老町議会議員） 佐 藤 雄 大 氏

問い合わせ先
北海道白老東高等学校
電 話 0144-82-4280
1学年 柚原航太
石川拓未

出前講義会場図



準備…当日 4 h

片付け…終了後随時 (お手すきの先生方、ご協力願います)

【使用物品】

- ☐ パイプ椅子 40 (講師、保護者、来賓、教員、報道)
- ☐ マイク 3、マイクスタンド 1
- ☐ プロジェクター 1、HDMI ケーブル (3m) 1
- ☐ スクリーン

【生徒掌握】

1 A…佐々木

1 B…柚原

【講師対応】

教頭、柚原、石川、宮川

【撮影】

西村

令和6年(2024年)9月2日

保護者 様

北海道白老東高等学校長 大 木 康 弘

1 学年総合的な探究の時間「出前講義（町長講話）」について（ご案内）

初秋の候 皆様におかれましてはますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

日頃より、本校の教育活動に対して、格別なご理解、ご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

さて、今年度、1 学年の総合的な探究の時間におきまして、「出前講義（町長講話）」を次の日程で実施したいと考えております。貴重な機会でございますので、聴講希望の方は、下記にご記入の上、お子様を通じて担任までご提出ください。

記

1 日 時 令和6年10月8日（火） 13：20～15：15

2 場 所 北海道白老東高等学校 体育館

3 日 程

13:00	13:20	13:25	13:30	14:40	14:50	15:00
受	開	[説明] 5分	[出前講義] 70分	[質疑・応答] 10分	閉	
付	会	・出前講義の趣旨 について ・講師紹介		・本校生徒、保護 者より質問を受 け付け	会	

4 講師

【講演】「私の人生観と白老の今後の将来像について、高校生に期待すること」（仮）

白老町長 大 塩 英 男 氏

【講演】「白老町の観光と地域資源」（仮）

白老町経済振興課観光振興グループ 主事 荒 大 輝 氏

【講演】「地域探究の進め方と白老の魅力～白老町出身者として～」(仮)

北海道白老東高等学校地域コーディネーター（白老町議会議員） 佐 藤 雄 大 氏

5 備 考

- ・下記の出席票にご記入の上、9月17日（火）までに生徒を通して担任へご提出下さい。
- ・ご不明な点がございましたら担当（1 学年 柚原）まで、お問い合わせ下さい。

（電話 0144-82-4280）

き り と り

出 席 票

出前講義（10月8日（火））に出席します。

年 組 番 保護者氏名

生徒氏名

提出〆切日 9月17日（火）

出前講義進行台本

時間	担当	進行	備考
(前日)			
12 : 00			
13 : 00			
13 : 15			
13 : 20			
13 : 25			
13 : 30			
14 : 00			
14 : 20			
14 : 40			
14 : 50			
14 : 55			
15 : 00			

北海道白老東高等学校

第1学年 総合的な探究の時間

白老駅前プロジェクト ～白老に来て、私は今～ 出前講義

1学年の総合的な探究の時間の地域探究分野（白老駅前プロデュース～白老に来て、私は今～）が後期よりスタートするにあたり、白老のスペシャリストにご講話いただきます。

日時・場所

10月8日（火） 13：20～（5，6校時） 本校体育館

講師紹介

講師① 白老町長 大塩英男様

【講演】「私の人生観～なぜ役場職員から町長になったのか～」
「白老の今後の将来像について、高校生に期待すること」



講師② 白老町経済振興課観光振興グループ 荒大樹様

【講演】「白老の観光と地域資源」

講師③ 北海道白老東高等学校地域コーディネーター 佐藤雄大様

【講演】「地域探究の進め方と白老の魅力～白老町出身者として～」

問い合わせ先

保護者の方へ

ご希望される方は、参観可能です。お子様に配布しました案内文書を、期日までに担任へご提出ください。

不明点は、右記までお問い合わせください。



校訓
自彊 聡明 礼節

北海道白老東高等学校

〒059-0903

白老郡白老町日の出町5丁目17番地3

TEL:(0144)82-4762 FAX:(0144)82-4766

Email ky1201@hokkaido-c.ed.jp

担当 柚原航太 石川拓未（1学年）